

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。

薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

レスリン錠 25、レスリン錠 50

一般名： トラゾドン塩酸 塩 (Trazodone Hydrochloride)	販売名	レスリン錠 25	レスリン錠 50
	形状（製 剤写真 等）		

1. どんな薬

- この薬は、飲みはじめてすぐには抗うつ効果はあらわれませんが、飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達を改善し、抑うつ気分や不安を和らげます。

2. この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ❌ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
過去にレスリン錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 - ・ 心筋 梗塞 回復 初期 の人、心臓に病気のある人、または過去にこれらの病気があった人
 - ・ 緑内障の人、または眼内圧が高い人
 - ・ 尿が出にくい人
 - ・ てんかんなどの病気がある人、または過去にこれらの病気と診断されたことがある人
 - ・ 躁 うつ病の人
 - ・ 脳に 器質的 な障害のある人、または 統合 失調症 になる可能性がある人
 - ・ 衝動的 な行動を起こしやすい病気を合併している人
 - ・ 死にたいと強く思ったり考えたことがある人
 - ・ 出血しやすい人、または過去に出血しやすかった人
 - ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・ 授乳中の人
- この薬には一緒に使用する場合に注意が必要な薬、食べ物や飲み物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
自殺したいという考えを持つ、自殺をするために実際に行動をおこす、まわりの人に対して迷惑をかけたり傷つけたり危害を加える	自殺念慮、自殺企図、他害行為
不安になる、あせる、イライラする、たくさん話すようになる、大声で叫ぶ、まわりの人に暴力をふるう、物を壊してしまう、ちょっとしたことで怒る、突然パニック状態になる、ドキドキして息がしにくいと感じる、自分の気持ちをうまく調整できなくなる、眠れない、ちょっとしたことで気持ちや体がいつもとは違う感じになる、敵意を持つ、気持ちが高ぶる、衝動的に行動する、足がムズムズして、じっとしてられない感じがする、じっと座ってられない、	不安、焦燥、興奮、パニック発作、不眠、易刺激性、敵意、攻撃性、衝動性、アカシジア／精神運動不穏、軽躁、躁病

いつもより動きすぎたり、せわしなくなる	
めまい、ドキドキする、気を失う、胸のあたりが気持ち悪かったり、つらい感じがする、脈がとぶ	QT 延長、心室頻拍 (torsade de pointes を含む)、心室細動、心室性期外収縮
急に高い熱が出る、体がゾクゾクして寒く感じる、のどの痛み	無顆粒球症

- **自動車運転等**：眠気や注意力、集中力、反射などの低下があらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- この薬は、急に飲む量を減らしたり、使用を中止した場合に、吐き気、頭が痛い、体が重くて動きたくない感じがする、不安になる、なかなか眠れないなどの症状があらわれることがあります。そのため、この薬の使用を中止する場合には、時間をかけて、少しずつ量を減らしてゆきます。医師の指示どおりに使用してください。

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
高い熱が出る、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しぶりが悪い、よだれが出る、食べ物やつばが飲み込みにくい、脈が速くなる、息の回数が増える、血圧が上がる	悪性症候群 (Syndrome malin)
急に心がザワザワして、落ち着かなくなる、体がふるえる、汗が出る、脈が速くなる、熱が出る、筋肉のこわばり、手足がピクピクする、下痢、皮ふに赤みが出てくる	セロトニン症候群
気が散って集中できなくなる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、少しぼんやりする、気持ちが高ぶって、落ち着かない、実際にはないものが見えたり、聞こえたりする、ありもしないことを本当だと思い込む	錯乱、せん妄

5. 保管方法

直射日光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：オルガノン株式会社、電話：フリーダイヤル 0120-095-213、受付時間：9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）、URL <https://www.organon.com/japan/>

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>